

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	第1回みよし市総合計画審議会		
開催日時	令和4(2022)年10月11日(火) 午前10時から午前11時22分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室1・2・3		
出席者	(会長) 伊藤久司 (職務代理者) 近藤元博 (委員) 柘植昭敏、井上将成、鈴木淳、富樫佐智子、清田由雅、竹村勉、鰐部兼道、久野文仁、深谷彰子、新谷千晶、竹谷明永、佐野真紀、石田奈実、柏佳恵、加藤正二、近藤憲司、岩田信男、伊豆原浩二、小玉寿仁 ※敬称略  (みよし市) 小山市長、酒井副市長、清水政策推進部長、伊藤政策推進部参事  (事務局) 海堀政策推進部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、加藤副主幹、岡田主事		
次回開催予定日	令和5(2023)年3月頃		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 加藤、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス <a href="mailto:kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
典 礼 海堀次長	<p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、第1回みよし市総合計画審議会を始めさせていただきます。</p> <p>本日、会議は公開となっております、傍聴者の方がお見えになります。「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に基づき、会議を公開することとしていますので御承知おきください。なお、傍聴者の方は受付時にお渡ししました注意事項を厳守いただきますようお願いいたします。</p> <p>議題に入るまでの進行を務めさせていただきます、政策推進部次長の海堀と申します。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>本日の出席委員は21名で、みよし市総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございますので、本審議会は成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>会議に先立ちまして、今回委員に御就任いただく皆様に本審議会委員の委嘱をさせていただきます。委員名簿をお手元に配付させていただきましたので御参照ください。なお、本来であれば、委員の皆様お一人お一人に委嘱状を交付させていただくところではありますが、時間の都合もありますので大変申し訳ありませんが、代表の方1名に委嘱状の交付をさせていただきます。代表の方以外の皆様にはあらかじめ机の上に委嘱状を交付させていただいておりますので御確認ください。</p>		

	<p>それでは、市長より委嘱状の交付をさせていただきます。お名前をお呼びしますので、その場で御起立ください。</p> <p>区長会代表 柘植昭敏（つげ あきとし）様 《委嘱状交付》</p> <p>ありがとうございました。それでは、次に小山市長より挨拶を申し上げます。</p>
市 長	<p>皆さん、改めましておはようございます。本日は大変お忙しい中、総合計画の審議会に御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>これから皆様に諮問をさせていただきます総合計画の見直しですが、この総合計画は市にとって基本となる計画で大変重要な施策であると思っております。</p> <p>前回の総合計画につきましては、平成30年度に策定したものでありますので、その時に比べて社会情勢も変化しております。SDGs、カーボンニュートラル、コロナの影響による経済的な落ち込みなど、そういったものの反映が必ずしもできていません。もちろん毎年見直しをしていますが、社会情勢の変化に応じて適切な施策の変更が必要であると思っております。また、基本的な計画については枠組みを維持し、新たな政策の展開を盛り込んでいくことを1つの柱にした中間見直しということを予定させていただいております。</p> <p>そうした中で、今回御参加をいただく皆様におかれましては、各団体、各会、それぞれの代表の皆様方であります。それぞれの皆様の声をしっかりとこの計画に反映させていくことが、市にとっての政策に非常に重要であると思っております。皆様におかれましては、事前に資料もお配りさせていただいておりますが、資料を読み、当日の会議においては全ての方が発言をしていただくということをぜひお願いをさせていただきたいと思っております。</p> <p>私はこうした会議というのは形式的なものではなく、本当に皆様が思っている意見をしっかりとぶつけて、よりよいものにしていくという過程の中で、計画、あるいは政策がよりよいものに練り上げられていくと思っております。ぜひ、皆様から積極的な御意見をお願いしたいと思っております。それほど大切な計画であると思っておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。</p> <p>今日は第1回目ということで、これから数回、皆様に大変お手数をおかけするところになると思いますが、みよし市をよりよいまちにするために、ぜひ御理解いただきまして、皆様の御尽力を心からお願いを申し上げます。冒頭にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
典 礼 海堀次長	<p>それでは議題の審議に先立ちまして、本審議会の会長及び職務代理者の選任をお願いしたいと思います。みよし市総合計画審議会条例第4条第1項の規定により委員の皆様との互選により、会長を選任していただくこととなっております。どうか御推挙いただけるようでしたらお願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>第2次総合計画を策定された時の審議会の会長をしていらっしゃった東海学園大学の伊藤久司先生をお願いしたいと思います。</p>
典 礼 海堀次長	<p>ありがとうございます。会長に伊藤委員を御推挙いただきましたが、皆さんいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>《異議なし》</p>
典 礼 海堀次長	<p>ありがとうございます。御異議がないようですので、伊藤委員に会長をお引き受け願いたいと思っております。よろしく申し上げます。それでは伊藤委員は会長席の</p>

	<p>方へ御移動をお願いいたします。</p> <p><b>【伊藤会長、会長席に移動】</b></p> <p>続きまして、職務代理者の選出ですが、本審議会条例の第4条第3項の規定により、会長が指定するということになっております。伊藤会長から御指定をお願いいたします。</p>
伊藤会長	それでは職務代理者としては、近藤元博委員にお願いしたいと思います。
典 礼 海堀次長	ただいま職務代理者に近藤委員を御指名いただきましたがいかがでしょうか。
近藤（元）委員	はい。お引き受けいたします。
典 礼 海堀次長	<p>それでは職務代理者席へお移りください。</p> <p><b>【近藤職務代理者、職務代理者席に移動】</b></p> <p>ここで伊藤会長から御挨拶をいただきます。</p>
伊藤会長	<p>皆様、おはようございます。私は今少しお話いただきましたが、お手元にあります、この第2次みよし市総合計画の作成にあたり、審議会の会長を務めさせていただきました。審議会ですとまとめた総合計画を小野田前市長に答申しまして、その際に、ここに書いてあります、「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」を実現できるよう努めていただきたいをお願いしてから、はや3年半以上が経過いたします。</p> <p>先ほど市長の方からもお話がありましたが、この総合計画を検討していた5年前とは市政を取り巻く環境は変化しております。例えば、SDGsについても5年前は今ほど注目されていなかったと思います。昨今では、様々な施策、プロジェクトがSDGsのどのゴールと結びつくのかを示しながら、組織としてSDGsに積極的に取り組んでいるという姿勢を示す必要が出てきています。みよし市も今年度「みよし市SDGs推進パートナー制度」を導入され、東海学園大学もパートナーの一員として、今まで以上にみよし市と協力してSDGsの推進に努めております。</p> <p>今回の審議会は、これまでの取組をチェックするとともに、社会情勢の変化やこれからの方向性を考えながら、基本計画の後半がより充実したものになるよう議論する場だと思っております。先ほど市長から要望がありましたように、皆様それぞれのお立場から様々な意見を出していただいて、活発な議論ができればと思っております。何卒御協力のほどよろしくをお願いいたします。御挨拶に代えさせていただきます。</p>
典 礼 海堀次長	ここで市長から、総合計画審議会に対し、第2次みよし市総合計画基本計画の見直しについて諮問をさせていただきます。伊藤会長は、自席にて御起立をお願いいたします。市長をお願いいたします。
市 長	<p>みよし市総合計画審議会議長様、第2次みよし市総合計画基本計画の見直しについて諮問。このことについて、みよし市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。よろしくをお願いいたします。</p> <p><b>【市長から会長へ諮問書を手渡す】</b></p>
典 礼 海堀次長	市長につきましては、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

	<p>【市長退席】</p> <p>本日は第1回目の会議ということで、本来ならば各委員の皆さんに自己紹介していただくところですが、委員の人数も多いので、机上に委員名簿を配付させていただいておりますのでそちらを御確認いただきたいと思います。</p> <p>それでは議題の審議に移りますが、審議会条例第4条第2項の規定により、会長は、会務を総理するとございますので審議会の進行をお願いしたいと思います。伊藤会長よろしく申し上げます。</p>
伊藤会長	<p>それでは、限られた時間の中ですが、委員の皆さんで十分議論していただきたいと思っております。それでは、議題1「第2次みよし市総合計画後期基本計画の策定スケジュールについて」事務局より御説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>企画政策課の加藤でございます。説明を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。大変申し訳ありませんが座って御説明をさせていただきます。</p> <p>説明に移ります前に、資料の御確認をさせていただきますと思います。事前にお送りしています資料は、みよし市総合計画審議会と表に大きく書いてあるA3横の資料と、今後実施する予定の市民アンケートの資料として、アンケートの案と、アンケートを回答していただく際の参考として添付する市の取組分野についての内容をまとめた別紙、A4の資料です。また、本日、机上には現行の第2次みよし市総合計画の冊子と、総合計画の概要版を配付させていただいております。</p> <p>それでは議題1「第2次みよし市総合計画後期基本計画の策定スケジュールについて」御説明をさせていただきます。A3の資料を御覧ください。</p> <p>参考までに、資料の1ページに本審議会設置の根拠となるみよし市総合計画審議会条例を、2ページには改めて委員名簿をつけさせていただいております。また御確認いただければと思います。</p> <p>続きまして資料の3ページを御覧ください。まず、今回の第2次みよし市総合計画の見直しの目的や、見直しに係る基本的な考え方などについて御説明させていただきます。</p> <p>見直しの目的といたしまして、現在の第2次みよし市総合計画は、平成30年度末の平成31年3月に策定し、策定からすでに3年以上が経過しております。計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の流行をはじめとして、社会全体でSDGsやゼロカーボン、またデジタル化への取組に対する意識は高まってきており、市を取り巻く環境は大きく変化をしています。こうした社会情勢の移り変わりに対応していくためにも、これまでの本市の取組について、改めて評価検証を行うとともに、新しい取組を基本計画にしっかりと位置付け、実施していくことが必要であり、今回、基本計画の見直しを行っていくことといたしました。</p> <p>次に計画の体系について御説明いたします。資料と併せて、本日配付させていただきました総合計画の6ページ及び7ページを御覧いただけますでしょうか。総合計画は、大きく基本構想、基本計画及び実施計画の3つの要素によって構成されています。</p> <p>まず、基本構想は、市の目指す将来像と、それを実現するための基本目標を掲げ、これからのまちづくりの方向性を定めたもので、第2次みよし市総合計画では、目標年次を令和20年、目指す将来像を「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」としています。</p> <p>次に、基本計画は、基本構想に掲げる将来像と基本目標を達成するために必要な具体的な取組を分野ごとに示したもので、計画期間を令和10年までの10年間としています。また、基本計画は中間年に見直しを行うこととしており、今回の見直しも計画書に記載の通り実施していくものでございます。</p> <p>最後に、実施計画は、基本計画に定めた取組内容に従って、具体的な各年度の事業内容を明らかにしたもので、向こう3年間の計画を毎年度ローリング方式で見直しを行っているところでございます。</p>

	<p>資料3ページの右側に移っていただきまして、今回の見直し事項及び見直しの基本的な考え方について御説明いたします。今回は基本計画の評価検証を行い、課題や今後の方針を整理し、基本計画の各取組分野における「現状と課題」、「取組分野・取組項目のねらい」、「目標指標の目標値」、「主な取組」について見直しを行っていくこととします。また、今回は新しい計画の策定ではなく、中間年の見直しであることから、現行計画の基本構想及び基本計画内の基本的な枠組みなどはそのまま維持し、これまでの取組に対する評価検証を行う中で出てきた課題に対し、新しい取組などを計画に記載していきます。併せて、人口指標や目標指標の目標値などの必要な見直しを行っていきます。</p> <p>具体的に御説明させていただきますので、基本計画の計画書の54ページ、55ページを御覧ください。こちらが現在の基本計画の体系を示したもので、54ページの基本構想の部分と55ページの基本計画の部分の基本的な枠組みはそのままとして、一番右側の各取組分野における記載内容を変更していく予定としております。</p> <p>続いて、基本計画の60ページ、61ページを御覧ください。それぞれの取組分野の具体的な記載内容のページになります。先ほど御説明させていただきましたとおり、具体的にはこの中の「現状と課題」、「取組分野のねらい」、「目標指標の目標値」、右のページに移っていただいて、「主な取組」のそれぞれについて記載内容の見直しを行います。</p> <p>再び会議資料に戻っていただきまして、「6 策定体制」について御説明させていただきます。総合計画の審議機関といたしまして、本総合計画審議会を設置し、総合的に調査審議を行ってまいります。計画策定における庁内体制につきましては、総合計画策定本部を設置し、そのもとに専門部会、作業部会を組織し、基本計画の見直しに対する調査研究、資料作りなどの作業を全庁体制で進めていきます。</p> <p>資料4ページに移っていただきまして、こちらに策定スケジュールをお示しさせていただきます。基本計画の中間年を迎える令和5年度末に後期基本計画を公表することを目標に、今年度と来年度の2ヵ年をかけて基本計画の見直しを実施します。表の一番上に、それぞれの年度で行う計画策定作業の内容を記載しています。</p> <p>令和4年度につきましては、基礎調査の実施として、市の現状と動向の整理分析、市民アンケート調査の実施、現行計画の評価・分析を行います。令和4年度の審議会は、本日と、来年3月の2回の開催を予定しております。本日の審議会では、この後の議題2で「市の現状と動向の整理分析結果」について御説明をさせていただきます。また、第2回の審議会では、今後実施するアンケート調査の結果や、現行計画の評価分析の結果について御説明させていただく予定としています。</p> <p>令和5年度につきましては、主に後期基本計画の策定作業に移りますが、基本計画の案を作成し、パブリックコメント等の手続きを経て、令和5年度末に後期基本計画を公表することを予定しております。令和5年度の審議会は、計4回の開催を予定しており、第3回及び第4回では、基本計画案の審議、その後、第5回でパブリックコメントにかけるための案をまとめ、最後の第6回でパブリックコメントの結果報告と答申を行っていく予定をしております。</p> <p>あくまでも現時点の予定ですので、会議の開催回数や開催時期につきましては変更になる可能性もございますので、御了承いただきたいと思います。議題1「第2次みよし市総合計画後期基本計画の策定スケジュールについて」の説明は以上となります。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。それでは、今の説明について何か御不明な点や質問などはございますか。大丈夫でしょうか。この会議の意味や今までの経緯を御説明いただきましたので、大丈夫ではないかと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

各委員	《意見なし》
伊藤会長	<p>それでは、議題2「第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための基礎調査結果について」事務局より御説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題2「第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための基礎調査結果について」御説明をさせていただきます。</p> <p>資料の5ページを御覧ください。まず、本市の人口の現状と動向についてですが、令和4年4月1日現在、本市の人口は6万1,218人、総世帯数は2万5,104世帯、平均世帯人員は2.44人となっております。人口につきましては、これまで継続して増加を続けてきましたが、令和元年度をピークに伸び悩んでいる状況でございます。人口が伸び悩んでいる原因といたしまして、まず出生者数と死亡者数の差で求められる自然増減の増加数が減少傾向を示していることが挙げられます。出生者数が減少傾向にあることに加え、死亡者数も増加傾向にあり、平成26年度には362人のプラスであった自然増が、令和3年度では80人まで縮小してきています。</p> <p>主に転入者と転出者の差で求められる社会増減につきましては、年度によりばらつきがありますが、こちらも縮小傾向を示しており、これまで転出超過となった年度においても、自然増減のプラスによって全体で人口増を維持していたところ、令和元年度や令和3年度では、人口増減の全体でマイナスを示すこととなりました。社会増減が縮小傾向を示している要因の一つとして、外国人人口の増加が縮小傾向にあることも挙げられます。</p> <p>人口の伸びに比べまして、世帯数は増加を続けているため、平均世帯人員は年々減少をしております。</p> <p>6ページを御覧ください。世帯数の増加と平均世帯人員の減少は、主に核家族化の進行と単独世帯の増加によるものでございます。国勢調査の結果から単独世帯の増加が特に顕著であり、ページ右側の男女別及び年齢区分別に見ますと、単独世帯は、男性では25歳から34歳までの年齢区分で27.5%と最も多く、女性では85歳以上の年齢区分で23.5%と最も多くなっております。</p> <p>7ページを御覧ください。年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の年齢3区分別人口割合について、15歳から64歳までの生産年齢人口の割合は、近年、横ばい傾向でございますが、少子化・高齢化の傾向は続いています。</p> <p>総合計画の48ページを御覧ください。現在の総合計画策定時の年齢3区分別人口割合について、令和4年度における見通しはこちらに記載の通りでございます。小数点以下の誤差の部分もありますが、少子化・高齢化が当時の見通しより若干進行している状況です。0歳から14歳までの年少人口を今後維持していくことが課題として挙げられます。</p> <p>資料にお戻りいただきまして、産業の現状と動向について御説明させていただきます。7ページ右側を御覧ください。農業につきましては、農業経営体数が大幅に減少していますが、農業産出額と経営耕地面積は概ね維持している状況です。法人等の担い手農家への農地の集約化が進んでいるものと考えられます。</p> <p>8ページを御覧ください。ページの左側、商業の推移につきましては、年間商品販売額は増加傾向にあるものの、事業所数や従業者数は横ばい、もしくはやや減少傾向にあります。ページ右側の工業の推移につきましては、事業所数は減少傾向にあります。製造品出荷額等は増加傾向にありまして、令和2年度の実績では1兆円を超えているような状況でございます。</p> <p>次に9ページ右側を御覧ください。本市の土地利用の現状と動向について御説明させていただきます。地目別土地利用の構成割合を見ると、田や畑といった農地が減少し、代わりに宅地が増加していることがわかります。農業従事者の高齢化と後継者不足といった課題もあり、また、依然として住宅用地や産業用地の需要が高いことから、今後もこの傾向は続いていくものと想定されます。</p>

10ページを御覧ください。本市の財政の現状と動向について御説明いたします。ここ2年ほどは、新型コロナウイルス感染症対策関連の歳入及び歳出が増加していることによって、全体額が大きく膨らんでいます。歳入においては、法人税の一部国税化やふるさと納税による減収額の拡大により、市税収入が大きく減少している状況です。歳出においては、新型コロナウイルス感染症の影響も見られますが、教育費、衛生費、民生費の占める割合が年々大きくなっているような状況です。

ページの右側に移っていただきまして、財政力指数につきましては、一貫して、1を超えている状況ではありますが、市税収入の減少を背景に財政力指数も低下傾向を示しております。実質公債費比率につきましては、健全化基準である25%は大きく下回っている状況です。

資料11ページを御覧ください。続きまして、国及び県における施策の動向について御説明をさせていただきます。国の施策動向については要点を絞って御説明させていただきますと思いますので、御了承いただきますようお願いいたします。

まず、新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく、様々な面で変革が求められています。特に新しい生活様式の浸透や働き方改革などによって、どの分野においてもデジタル化の推進が必要不可欠となっています。行政分野においてもデジタル化をさらに推進していく必要があります。

次に、防災面についてですが、近年、大規模な自然災害が毎年のように発生しています。地球温暖化の進行に伴う気候変動によって、特に雨の降り方が変化している傾向にあり、これまで以上に防災・減災への取組を進めていく必要があります。

また、国においては、地球温暖化対策として、脱炭素の取組をさらに推進するため、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ化、すなわち、カーボンニュートラルを目指すことが宣言され、当面、2030年度までに2013年度比で46%の削減目標が掲げられています。本市におきましても、令和元年12月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行っておりますので、今後、脱炭素の取組についてはさらに推進をしていく必要があります。

最後に、近年浸透してきましたSDGsにつきましては、本市も令和3年3月に「SDGs推進宣言」を行っているところであり、今後も積極的に取り組んでいかなければなりません。基本計画の見直しの中では、各取組分野をSDGsのそれぞれのゴールと紐づけして示し、基本計画に掲げる取組についてもSDGsとの関連を意識しつつ、記載していく必要があります。

資料15ページを御覧ください。本市を含む西三河地域における愛知県の主な施策動向としまして、ページの右側に色付けをしていますが、外国人雇用の促進や次世代自動車関連産業の育成・振興、自動車を中心とするモノづくり産業の推進などが県の施策の動向として挙げられています。

16ページを御覧ください。市内外における近年の諸動向として、人口や経済などの分野について、西三河及び尾三地区の近隣市町との比較をまとめて、本市の特徴を分析しております。

17ページを御覧ください。表にまとめたものでございますが、近隣市町と比較した本市の特徴としまして、人口増減率は前回及び前々回の国勢調査の結果からでございますが、高浜市、豊田市に次いで下から3番目というような状況になっております。

老年人口比率や平均年齢は近隣市町と比較して低く、上位であるものの、年少人口比率は中間に位置しています。若い人口構成の市であると言えますが、年少人口比率が比較的低いことから、今後、近隣市町と比べて高齢化が早く進むのではないかと懸念されます。

表の下から2段目のふるさと納税受入額では、近隣市町でいきますと、碧南市、幸田町が突出して高く、次いで西尾市までは比較的多額の受け入れとなっているものの、その他市町の受け入れ額は低い傾向にあります。

	<p>18ページ以降では、それぞれの指標についてグラフでまとめていますので、参考までに御確認いただければと思います。</p> <p>議題2「第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための基礎調査結果について」の説明は以上でございます。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。今後、総合計画を考えていただく上での基礎資料ということですので、何か御質問や御不明な点等ございましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>1点、聞き逃したのかもしれませんが、資料8ページの商業の推移のところ、平成28年までのデータですが、新しいものはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>「商業統計調査」が平成26年で終了しておりますして、その後の統計資料は、5年に1度の「経済センサス - 活動調査」をもとに作らせていただいたグラフになります。「経済センサス - 活動調査」は昨年実施されておりますが、最新の数字がまだない状況です。</p>
伊藤会長	<p>わかりました。ありがとうございます。他に御意見等はないでしょうか。</p>
鰐部委員	<p>商工会の鰐部と申します。私は商工会の代表でございます。この総合計画を見てみますと、商業も活性化していかなければならないというようになっていますが、現実、活躍する場所が限られており、ほとんど進出するような場所がありません。この辺りで商業施設を作りたいと思っても、農地や調整区域ということで作ることができず、三好丘の方は住宅地域であるため、商業施設が作れるのはものすごく限られた場所しかありません。そういう意味から、みよし市の中で、商業地域の場所を指定していただいて、用地の転換をして商業ができるようにしていただきたいです。現在では、そのようなことがほとんどできない状況ですので、その辺りを少し入れていただけるとありがたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。具体的な御要望だと思いますが、事務局から御意見等がありますか。</p>
事務局	<p>施策の方向性に関する御意見いただきましたので、今後の計画策定の際に、商業などの取組分野で御意見を生かしていく方向で考えていきたいと思っております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p> <p>他にどなたか御意見等ございますか。</p>
鰐部委員	<p>具体的な面で作業部会の方で検討していただけるということですが、現在、市の方はホテル誘致が大体決まって、ホテルが建設されるという状況になっております。ホテルを建設する以上は、その周辺に飲食店や様々なものがないと、ホテル自体も利用価値がないということになってしまうので、周辺も含めて開発を進めていただけるとありがたいと思います。</p> <p>それからもう一つは、この地域の中心街は交通の便が悪いと感じています。北の方の三好丘や黒笹地区にしか電車がありません。中心街周辺はバスが少し走っていますが交通の便が悪いので、豊田から名古屋の方に直通で行けるようにしていただきたい。例えば、153バイパスの真ん中がちょうど空いているので、上にモノレールをつけて、みよしの中心街を通るというようなこれからの時代に即したまちを作っていくと、新しいまちの核ができてくるのではないかと思います。その辺りのことも入れてほしいと思います。</p> <p>みよし市は、豊田市と名古屋市の中心にあるということで、この辺りにはいろいろ大きな商業施設ができてくるわけですが、みよしの農産物の売り場は狭く、他の人が買いづらい状況になっております。みよしの外からの人が買いやすいような状況として、例えば、道の駅のようなものを作ると、豊田市や名古屋市の方が</p>



	<p>らお客さんが来て活性化するように思います。まちづくりの中に商業地区や地域の活躍する場所を何とか確保していただけるとありがたいと思います。これは参考までの意見としてよろしく願います。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。先ほどと同じように具体的な御提案ですので、それは回を改めたところでまた御発言いただければと思います。</p> <p>他にどうでしょうか。</p> <p>私からの質問ですが、最後の方にふるさと納税の統計が出ており、みよし市は実績がかなり低い方だと思います。これに対して、今、みよし市が取り組もうとしていることはどのようなことでしょうか。</p>
清水政策推進部長	<p>ふるさと納税は、確かにみよし市の場合、他市町に納税される方が大変多くて、苦慮しているところです。財政課の中にふるさと納税の担当職員が何名かおり、主にみよし市の企業の皆さんに御協力いただき、訪問させていただいています。みよし市からも、こういった商品があるということを積極的に市内外に発信していきたいと考えております。また、ふるさと納税のサイトにおいても、積極的に商品をアピールしながら、全国の皆さんに知っていただけるよう頑張っているところではあります。なかなか実績が伸びないのが現状です。皆様方からも、こんな商品を作っているところがあるという情報について、小さなことでも結構ですので、市の方にお知らせいただきたいと思いますので御協力よろしく願います。</p>
伊藤会長	<p>他にどうでしょうか。</p>
伊豆原委員	<p>地域公共交通会議代表として会長をやっております伊豆原と申します。</p> <p>現在の状況は大体この資料で分かってきましたが、これからの問題というのをどう捉えるかというのがすごく大切だと思います。高齢者の割合が18.5%ということですが、2025年問題が資料には出てきていません。先ほど鰐部委員からもお話がありましたが、後期高齢者の移動の問題というのは、どういった形でサポートができるのかということがすごく大切だと思います。</p> <p>もう1つ、医療費の話が出てきていません。医療費はどうなっているのでしょうか。収入の面と支出の面で、このバランスをどのようにしていくのかというのはとても大切だと思います。収入の方は増やすのはなかなか大変でしょうが、逆に支出の方でどれだけのものをどこへ投資していくかが重要となります。資料では、簡単に一般歳出の状況だけが書いてありますが、医療費の高騰というのはこれからすごく大切になってくると思います。10月から2割負担する高齢者が大分増え、たぶんほとんどの方が2割負担になっていると思います。今まで1割だったのが2割になると、健康な高齢者になっていただくための施策がとても大切になってくると思います。この辺りはこれからの議論になると思いますが、現状分析のところで分析をしていただくとよいのではないかと思います。</p>
伊藤会長	<p>今の御発言に対して事務局は御回答ありますか。</p>
事務局	<p>高齢者の移動支援の施策につきましては、今現在、みよし市高齢者福祉計画においても検討している部分がございますので、今後、非常に大事な取組になってくると思っております。</p> <p>また、続いて御質問いただいた医療費の分析につきましては、こちらの資料に載せておらず、大変申し訳ございませんでした。年々、医療費等の扶助費については、市の歳出の中でも占める部分が大きくなってきております。そういった視点での分析も改めてさせていただきながら、今後の計画策定に生かしていきたいと思っておりますのでよろしく願います。ありがとうございました。</p>

伊藤会長	<p>今の御指摘は非常に大事だと思いますので、もしデータを作られたらまた御提示いただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>他にどうでしょうか。</p>
佐野委員	<p>少し教えていただきたいことがございます。</p> <p>今日御報告いただいてとても意外に思ったのが人口増減率です。自然増の方が少し緩やかになってきていて、社会増減率の方は結構な割合で減ってきていることが報告されました。私のイメージとしては、みよし市は若い人が多い元気なまちというイメージでしたが、そこの伸びが少し緩やかになってきていると今日伺って、新たな発見ができたと思いました。</p> <p>これまでいろいろな報道などを耳にしながら、みよし市や日進市、長久手市は、若い人たちがたくさん入ってきていて、人口が増えている元気なまちということが言われてきました。一方で少子化の流れというのは全国的にどこでもすすんできていて、どのまちでも人口増ということが今後の課題となっています。例えば千葉県の流山市、兵庫県の明石市は子育て支援をすごく積極的に打ち出して、かなり人が流れてきているということがあります。</p> <p>みよし市と単純には比べられませんが、これまでのみよし市はたぶん、家を建てて若い人たちがたくさん転入されたと思いますが、これから先、人口増を考えていくときに、またこれまでとは違った形で何か施策を打っていく必要があるのではないかと推測します。今のところ、どのようなお考えをお持ちでしょうか。これまでの人口増とこれからの人口増ということで何か見通しをお持ちのことがあればお願いいたします。</p>
酒井副市長	<p>本日はどうもお忙しい中ありがとうございます。</p> <p>今の御指摘について、正直申し上げて、この名古屋圏は都市間競争ということになってきていると思います。おっしゃられたように、長久手市、日進市が今、非常に人口が増加しています。特に長久手市は、人口が非常に増加する状況にあります。明石市のようにいろいろと子育て施策を進めて人口増を図っている市もあるということで、私どもも保育料などの子育て施策について、そういった方向を目指していくことを念頭に進めていきたいと思っています。</p> <p>資料の17ページにもありますように、出生率は比較的高いわけですが、これも維持していこうということで、今後、引き続き施策を行っていききたいと思います。御協力、あるいは情報をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
佐野委員	<p>みよし市さんが福祉や教育にとっても積極的であるということは私もイメージを持っていますので、また今後も積極的に取り組んでいただけたらと思います。ありがとうございます。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他にどうでしょうか。</p>
石田委員	<p>私は公募市民からの出席で、本当に素人で全然わからないことばかりで的外れかもしれませんがよろしくお願いします。</p> <p>私も子供が増えてきていると思っていましたが、そうではないとのことでびっくりしました。先ほど高齢者の方の医療費の話がありましたが、東郷町はたぶん高校生まで医療費が無料だと思います。うちの上の子が今年から高校生になりましたが、やはり医療費で実費があります。みよし市と東郷町は近いのに医療費の負担が違うとなると、子育て世代としては、たかが3年ですが高校生までの医療費が浮くというのはすごく大きいことなので、今後そこも検討していただけるとうれしいです。</p>
酒井副市長	<p>本市において、高校生の入院費は無料となっていると思いますが、通院の方は、西三河全体で今おっしゃられるような状況だということは十分承知しております。高校生まで医療費を無料の方向でいくのか、いろいろな形を検討させていた</p>

	だいているところですので、どうぞよろしくお願ひいたします。
伊藤会長	ありがとうございます。ぜひ積極的に御意見いただければと思います。他にどうでしょうか。
近藤職務代理者	質問ですが、みよし市さんの場合ですと、新しいまち、新しい宅地開発をされて、たくさんの方が流入して若い人たちが入ってくる一方で、古いまちというか、過去からずっと住まれているところになってくると、やはり高齢者の方々が一人暮らしになり、それで空き家が出てくるということになると思います。実は宅地開発の一方で、街中に空き家がパラパラと出てきています。空き家管理ということで、空き家の活用や、その空き家のあった土地の活用ということを行うと、また新しい人が入ってきてくれることもあります。流入の話はありますが、持っている資産というか価値のあるものが今どうなっているのか知りたいと思いますが、どうでしょうか。
事務局	空き家に対しては、これまであまり意識していなかった部分ではありますが、特に三好丘地区は30年ほど前に開発された後、だんだんと高齢化も進んできました。空き家も目立つような状況になっています。 市では令和2年度に空き家の調査をさせていただきまして、今年度、空き家対策計画の策定を進めております。資産である空き家を今後どう活用していくのか、またそういった問題にどう対処していくのかということところは今後の課題でもあります。
伊藤会長	ありがとうございます。他にどうでしょうか。
伊豆原委員	今のお話に関連しますが、土地利用の動向とともにもう一つ大切なのが、世代交代がどうなっているかということです。今の空き家の問題も含めて、世代交代がどうなっているのかというのは、新しい全体の宅地の話の中で整理されていかないと、次のステップにいけないのではないかと思います。 高齢者の方が増えてきて、次の世代に移り、土地利用がどんどん変わっていくということがどこまでできているのか、またこれからどうなっていくのかが重要になります。我が国の人口はもう減ってきていますので、みよし市だけが人口が増えるということはなかなかないだろうと思います。世代交代がどうなっていくかというときに、子どもたちが生活できる空間をどのように作っていくかということを整理していくと、先が見えてくる気がしました。
小玉委員	トヨタ自動車の見玉でございます。今回、竹村委員と鰐部委員とともに工業の代表と産業の代表として、発言の場をいただきましてありがとうございます。 今、弊社の社員も4,000人近くがこのみよし市に住み、また自動車産業でいけば1万人弱がこの市に住んでおりまして、大変満足度高く生活しており、感謝しております。 先ほど佐野委員から人口の話がありまして、おっしゃる通り人口減がこれから迫ってくると感じました。それを増やすのはなかなか難しく、いかに緩やかに抑えていくという方向にシフトしていかなければならないと思っています。資料の10ページの財政のところ、先ほど話がありました明石市では、子育て支援にどんどんお金を費やしていると思いますが、その一方で、土木の費用を半減にして色々な痛みを伴っているような話があったと思います。みよし市においても、限られた予算ですので、その中でどのように予算を配分していくのでしょうか。今後のビジョン、見通しや方向性のようなものがもしあれば教えていただければと思います。 子育て支援を増やして若者人口増に焦点を当てていただくのは、我々製造業が人手不足なので本当にありがたいですが、一方で、全体の予算は限られていると思います。そのあたりをどうされるのかお考えがあればいただければと思います。

	<p>よろしく申し上げます。</p>
酒井副市長	<p>ありがとうございます。当然、子育ての方に重点的に費用を充てていくことになろうかと思えます。一方で、先ほど御指摘いただきました医療費に加えて、介護費用が伸びていきます。明石市さんもそうですが、土木費、公共施設など過去に建設したものをどう維持していくのかということ、集約、あるいは削減していく方向にはなると思えます。ただ一方で、企業誘致により、予算を小さくさせず、やや大きくしたいというのが私どもみよし市の願望でもありますので、そちらの方でも頑張っていきたいと思えます。</p>
伊藤会長	<p>今お話があったように予算は限られています。そこをどのように、皆さんの御意見をうまく最大公約数として反映されるかを御議論いただくのがこの場だと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。 他にどうでしょうか。</p>
清田委員	<p>私はみよし市に来て50年になりますが、みよしの魅力は何かということが重要となります。 私は豊田市に住んでいまして、豊田市の合併の時に、足助、稲武、小原など財政のあまりないところとなぜ合併するのだろうと思いました。しかし、足助は香嵐溪の紅葉、稲武はどんぐりの里、小原の四季桜など、今や豊田市の観光名所になっています。三好池の桜もありますが、みよし市の魅力は何でしょうか。今度の休みにみよし市に遊びに行こうとか、みよし市に行きたいというものが何かあるかと考えると、ぶどうや柿はありますが、岡崎市でも駒立のぶどう狩りを大々的にやっています。観光の面でみよしに来てもらって、お金を使ってもらって商業も発展していくので、魅力あるまちづくりをしないといけないと思えます。市外・県外から、みよし市に行きたいというようなものが何かあるかをお聞きしたいと思えますが、いかがでしょうか。</p>
酒井副市長	<p>ありがとうございます。 本市は観光という面で非常に弱く、普段から商工会の鰯部会長からも御指摘いただいているところです。みよし市はやはり名古屋近郊、あるいは豊田近郊の住宅都市ということで、市の魅力ということについては、市だけでなく、市民の方と一緒にしてもう少し特徴を何か出していく形で行えればと思っておりますので、御協力よろしくお願ひいたします。</p>
伊藤会長	<p>それではお時間もありますので、次の議題3にいきたいと思えます。 議題3「第2次みよし市総合計画後期基本計画策定のための市民アンケートについて」事務局より御説明をお願ひいたします</p>
事務局	<p>それでは議題3について御説明いたします。 まず資料の21ページを御覧ください。今回のアンケートの目的は、主に総合計画の基本計画に掲げて進めている本市の取組について、市民の皆様の満足度と重要度を把握するとともに、これからのまちづくりに対する御意見をお伺いし、後期基本計画策定のための基礎資料とすることです。 調査概要につきまして、調査は18歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人を対象に行います。調査方法は、郵送によりアンケート調査票を送付し、回答は主に調査票に同封する返信用封筒で返送していただく形としていますが、今回の調査では、インターネットによる回答を取り入れることで回収率の向上に努めたいと思っております。アンケートの1ページに二次元コードを表示し、二次元コードを読み取っていただくことで専用ページに行くことができますので、そこで回答を入力していただけるようにと考えております。調査時期につきましては、本審議会にてアンケート内容について御確認いただいた後、10月下旬から11月中旬までの概ね3週間ほどを考えております。また、アンケートを郵送した後、時期を</p>

	<p>みて、アンケートの回答に対するお礼とまだ回答されていない場合を想定して、改めて御協力をお願いするようながきを送付したいと考えております。</p> <p>次に、アンケートの調査項目について御説明いたします。ここからは市民アンケート案のA4の資料を併せて御覧ください。</p> <p>アンケートの1ページ目には調査の目的、概要、また先ほど御説明しましたインターネット回答についての御案内や回答期限を記載しています。</p> <p>2ページ目の問1の質問1から質問7までは、御回答いただく方の基本情報に関する質問となっています。</p> <p>3ページの問2の質問8から質問11では、本市の住みやすさなどに関する質問となっております。この項目は、現在の総合計画を策定する際に、平成28年に実施したアンケート調査と同じ内容となっておりますので、前回の調査結果と比較検討を行います。</p> <p>4ページの問3の質問12が、本市の取組に対する満足度と重要度についての質問です。満足度と重要度につきましては、基本計画に記載する施策と取組分野・項目の全てについてお伺いしているため、非常にボリュームが大きくなっています。回答する際に調査票に文字がぎっしりと書かれていると、回答に抵抗感があると思いますので、抵抗感を和らげるために、各取組分野の主な取組内容につきましては、別紙で説明を添付するようにしております。</p> <p>満足度と重要度に関する質問が9ページまで続きまして、10ページの問4の質問13と14がこれからのまちづくりに関する質問です。質問14につきましては、市民の皆様自由に意見を書いていただくような記述式の質問となっています。</p> <p>11ページの問5の質問15と16が、まちづくりへの参加に関する質問です。協働に関する取組について、市民の皆様の活動内容、意識の変化などを前回のアンケートと比較して分析するために設けている質問です。</p> <p>最後の12ページがゼロカーボンやデジタル化推進の今後の取組の参考とするため、担当課に聞き取りを行うなどして設けた質問になります。ここまでの質問内容と比べて、急に具体的な質問内容となっておりますので、回答していただく方にとって質問の意図がわかりづらくなってしまっていますので、この部分につきましては、問6や問7と大きな見出しをつけるのではなく、見出しを修正してまとめた方がよいというようには考えております。委員の皆様のお意見を伺いできればと思います。</p> <p>議題3についての説明は以上になります。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。それでは、今の説明について何か御不明な点や質問等がございますか。問6、問7の見出しをつけるかどうかについて、意見を伺いたいということでしたが、そのことでも、それ以外でも構いませんが、何かございますか。</p> <p>最初に私の方から1つだけ、今御説明でもあったように、アンケートをやった方にはかなりのボリュームなのでちょっと大変ではないかとは思いますが、いろいろ御意見を伺う上では仕方がないかなというように思っています。</p> <p>その中で、実は第2次みよし市総合計画の中には、行政が行う取組が書いてありますが、それに加えて、市民の役割が書かれています。すなわち、市民の方々も総合計画の目的を達成するために一緒に頑張っていきたいという意味で、市民の役割というのが各取組のところに書かれていると思います。そのため、市民の方々は、この取組、総合計画の内容を御存知でなければ、当然協力することはできないと思います。そうすると、このアンケートの中に、例えば、この総合計画のことをどれぐらい御存知なのかというような項目があってもよいのではないかと少し思っています。</p> <p>全てをお読みになる方は多分いらっしゃらないと思いますが、例えば、先ほどあったように子育て世代の方が子育ての取組だけは知っているというように、どの程度、総合計画を理解されていて、どの程度総合計画の中に書かれている市民の役割を行っているかというようなことを併せて聞かれると、この総合計画の実</p>

	態や意義が見られるのではないかと思います。どうでしょうか。
事務局	<p>ありがとうございます。確かに総合計画の認知度と言いますか、市民の皆様がどのくらい知っていて、総合計画の取組に対してどうお考えになっているかというのは非常に大事なことだと思いますので、その設問についてはどこかで入れたと思います。</p> <p>「知っている」、「知らない」以外に、内容について具体的にどれくらい知っているかを書くと細かくなってしまいますので、3段階ぐらいの選択肢に分けて、選んでいただくような設問を入れていけたらと思います。</p>
伊藤会長	御検討いただければと思います。
新谷委員	<p>伊藤会長と同様の意見ですが、具体的な取組分野についての説明は付いていても、総合計画自体がどういうもので、どういうふうに作られているかというところを、やはり市民は残念ながら知らない、できた時は知っていてももう忘れていくということはいっぱいあると思います。この別紙に付ける「みよし市の取組分野についての説明」の後ろに、総合計画について、今日、私たちが説明を受けているような基本的なこと、例えば、市の計画は総合計画に基づいて進んでいる、構成はこのようになっているということなど、概要が少しわかるものを付けていただきたいと思います。そうすることで、今までは総合計画を意識していなかった方が気づいて、これからは意識しようというようになっていただけるとよいですし、私たちも意識するようになっていきたいと思います。</p> <p>また、総合計画をどのくらい知っているのか、何を目にされたのかというようなことは私も気になりますので、総合計画を知っているかどうかという簡単な質問が頭にあって、進めている具体的な取組について何う方が、順序が追えてよいと思いました。ぜひそういった工夫をしていただければ幸いです。</p>
伊豆原委員	<p>今のお話に関連しますが、先ほど基本計画の体系を説明していただいて、総合計画の54ページと55ページのあたりをちゃんと市民の方に説明しないと、この取組の説明は何だろうという話になってしまうと思います。この問3のところに総合計画について記載するのではなく、別紙の資料に「これを見ていただいた上で答えてください」とし、なぜこういうアンケートをやるのかという辺りを市民の方にまずは知っていただくというのが先に記載されていないと、アンケートの意味が分からなくなると思います。そのため、基本構想、基本計画、取組分野は連動しているという説明があって、問3に進むようにすると思います。私はこの問3はある意味で市民の皆さんの評価だと思いますので、そのあたりをこれからどう整理していくのか、この計画の中のアンケートの意図というところをまた次回で結構ですから、御説明いただければ大変よいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。確かに、今アンケートの4ページのところで簡単ではございますが、総合計画の内容について触れさせていただいておりますが、もう少し、今日御説明させていただいたような詳しい内容を、別紙の方で市民の皆様にご説明できるような形で検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。</p>
伊藤会長	<p>他にどうでしょうか。</p> <p>修正されたアンケートを10月に発送されるということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>本日の会議でいただいた御意見を基に修正を加えて、アンケートを発送しようと思っております。修正期間は大丈夫ですが、皆さんに再度御確認いただいて意見を伺うところまではなかなか期間的には難しい可能性もございますので、修正したものをお送りさせていただく形で御確認いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>

<p>伊藤会長</p>	<p>スケジュール等あると思いますので、今出た意見を十分考慮していただいて、修正するという事で、一任で大丈夫だと思います。出た意見を十分反映させていただければと思います        他はよろしいでしょうか。        では、本日、事務局から準備されました議題は以上となります。全体を通して何か御不明な点や質問等はございますか。大丈夫でしょうか。        それでは、事務局に進行をお返しいたします。</p>
<p>典 礼 海堀次長</p>	<p>本日は貴重な御意見、また丁寧な御審議ありがとうございます。皆さんの思いにしっかりと応えられるように事務局もしっかりやっていきたいと考えております。また、本年は先ほど御説明させていただいた通り、アンケート調査と評価分析がございました。この後、役所の中の策定本部、また専門部会、作業部会の方でしっかりと今日いただいた御意見をかみ砕きながら反映させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。        アンケート調査、評価分析等ができましたら、第2回の審議会を開催させていただきたいと思っております。時期は年が明けてからの3月を予定しております。詳細につきましては後日改めて事務局の方から連絡させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。        それでは以上をもちまして、第1回みよし市総合計画審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p>